

# 若い世代 野菜食べて



学生が考案した野菜料理を試食する松山大生

## 教育機関と行政タッグ

若い世代、働き盛りの食生活改善につなげようと、県内の行政機関が教育機関を巻き込んだ取り組みを進めている。学生によるレシピの考案や試食などを通じ、野菜不足や朝食を食べない人の意識変革を促すのが狙いだ。

### 松山大 学生考案レシピ試食会

松山大で2017年12月、学生が考案した野菜料理の試食会があった。同大生協学生委員会と松山市が実施した「お野菜コンテスト」で選ばれた5品のうち、お気に入り学生が投票。学生からは「野菜のほぐない」「食べやす」「生野菜が苦手という吉田七海さん(18)は「キッシュはおいしかった」と上々の反応だった。

### 松山東雲女子短大 スムージー共同開発

県も若年層を対象に食生活や栄養改善を推進する「E-YOプロジェクト」を16年度から実施する。17年度は松山東雲女子短大の食物栄養専攻の学生約30人でつくる一しのめベジガール」と協力。市販の野菜ジュースをベースに、青シソやカボチャなどを使ったスムージー3種をカゴメ(東京)と開発し、学食で販売した。大学祭ではプロットコリーや枝豆などを使った野菜スープ3種類を販売し、いずれも好評。調理の仕方や工夫次第で、野菜を食べてもらえる可能性のあることが分かった。

